

**今日のキーワード 話し掛けたことある？今注目の『AIスピーカー』！**

「Hey Siri」や「OK グーグル」といったセリフをスマートフォンに話しかけたことがある人や、テレビなどのコマーシャルで耳にしたことがある人も多いのではないのでしょうか？それぞれ、iPhone、Androidを音声で操作する音声アシスタント機能を起動する際のフレーズです。この音声アシスタント機能を使った『AIスピーカー』がいよいよ日本に上陸しました。今回のレポートでは、米国で売り切れ状態となり、人気を博す『AIスピーカー』に迫ります！

**ポイント1**

**話しかけるだけで様々なサービスが利用出来る『AIスピーカー』**

**IoT（モノのインターネット）などにより連携する様々なサービスを利用可能**

- 『AIスピーカー』の普及はアメリカが先行していますが、いよいよ日本でも本格的な販売が始まりました。主なメーカーの製品には、アマゾンの「エコー」やグーグルの「グーグルホーム」、LINEの「ウェーブ」などがあります。
- 『AIスピーカー』は、メーカーにより多少形状は異なりますが、概ね円筒状をしており、内蔵されたマイクにより音声を拾い、IoT（モノのインターネット）などによって『AIスピーカー』と連携している様々なサービスを話しかけるだけで利用することができます。

**ポイント2**

**それぞれ固有の起動フレーズで呼びかけ**

**AIが会話を学習して、利用者の好みに寄り添う？**

- 『AIスピーカー』の1つであるグーグルの「グーグルホーム」では、起動フレーズとなる「OK グーグル」と話しかけると、グーグルでの調べ物や音楽の再生、スマートホーム（IoTでつながった家電）の操作などが、会話をするように簡単にできます。
- 『AIスピーカー』は、それぞれ連携するサービスによって出来ることに違いはあるものの、英語版のアマゾンの「エコー」は、スキルと呼ばれるサービスが2万種類を超えると報じられるなど、その機能は幅広いと言えます。また、『AIスピーカー』と呼ばれるように、これらの商品にはAIが搭載されていることから、会話を重ねる中で『AIスピーカー』が学習し、会話の内容やサービスが利用者の好みに寄り添ってくとされています。



**今後の展開**

**年内に見込まれる複数の日本発売を機に、市場拡大が期待される**

- 『AIスピーカー』は音声アシスタント機能を起動して話しかけるだけで、従来に比べ手軽に様々なサービスを受けることができます。このため、連携するサービスの市場拡大が期待されており、サービスを提供する企業の参入も増えるなど広がりを見せています。日本未発売の「エコー」やソニーの「LF-S50G」も年内に日本での発売が見込まれています。日本でも『AIスピーカー』の普及が進み、関連する消費市場の拡大となるのが注目です！

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

**ここも  
チェック！**

2017年10月30日 『東京モーターショー』の注目点は？

2017年10月26日 自動運転などで拡大が期待される『センサー』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。